

7 / 2 講話

7月に入りました。

残り3週間で1学期が終わります。

学期初めに立てた目標はいかがですか。ぜひ振り返ってみてください。

さて、現在4年生は、総合的な学習の時間に「光が丘エコクラブ」と題して環境に良い取組について調べ、考えています。

私も自分自身、環境について調べてみました。すると驚くことが次々と分かりました。今日は、2つ紹介します。

1つは、日本は世界で4位に、ごみの排出量が多いことです。世界は約200カ国・地域がある中でなんと4位なのです。特に食品・衣服・プラスチック廃棄物の割合が高いそうです。

2つは、捨てられる量です。

衣服について話すと…1年間に10億枚もの新品の服が1度も使われることなく捨てられます。この服は全て焼却処分されるのです。実は、焼却処分されると地球温暖化にも大きく影響されるのです。

食品について話すと…世界には食事が十分にとれず、日々苦しんでいる人々がいます。そのために、食料支援をしているのですが…その支援している食料をはるかに越える食料が日本で捨てられているのです。また、日本で捨てられる食品の約半分が家庭から出たものだそうです。

ごみを減らす働きとして「3R」とよく言います。「3R」はぜひ調べてください。

ケニアの環境活動家のワンガリ・マータイさんが日本の「もったいない」の言葉を紹介したとき心の「R」が大事だと行っていました。

その「R」とは「リスペクト」日本語に訳すと「尊敬」と言います。

私たちの身の回りのものは、自然や多くの人々の労働のおかげで成り立っています。そうした全てに対して尊敬の心をもてば「ごみ」への考え方も変わると思います。

「使えにくくなったから」捨てる。

「新しい物がほしいから」捨てる。

こうした意識そのものを変えていく必要があるのかもしれない。